

“よんろく会通信” (大阪体育大学7期生・昭和46年入学者の会)

第19回 全日本マスターズレスリング選手権大会

於；国立青少年総合センター

7期生桜井次郎くん(68歳) 2019年度 **優勝**



令和2年1月18日～19日に開催の表記大会62kg級66歳以上の部に出場見事優勝しました。

コロナウイルス感染症拡大にて、全世界のスポーツ大会が自粛の中、大阪体育大学OBの頑張りを関係者に伝えたく46年入学者の会(よんろく会)より発信しました。

体育&スポーツのスペシャリスト集団であるオール大阪体育大学の一員として、現役競技者の“鏡”と言っても過言ではない櫻井くんの優勝ストーリーを伝えたいと思います。

大学時代(S46年4月～50年3月まで)レスリング部に所属し、卒業と同時に中学教員に、定年後も乞われ、現在も現役で活躍中！並行してレスリングの指導も継続しています。

愛好者としての高齢スポーツマンは、陸上競技や水泳界に多数存在されていて、そう珍しくありません。

また、格技では高齢師範・各種競技にも指導者として多数の方が活躍されています。

競技者も各年齢層に渡り多数おられ、世界No.1の称号を持つマスターズ選手も多く存在されています。

その中で、大阪体育大学同窓会ホームページに投稿させて頂いた訳があります。

櫻井君が優勝をしたのは、コロナウイルスが蔓延の前でしたが以後、高校野球春の選抜中止・東京オリンピックの1年延期・全中大会・インターハイ・インカレにも中止の波が、プロスポーツも開始の繰り延べ等。

コロナ渦、スポーツ界の暗黒期に少しでも光と感じて頂ければ…今後の大阪体育大学現役学生・OB選手・教員・スポーツ教室指導者等々大体大関係者に大きな影響を与える可能性が有ります。

色々なスポーツ愛好者がいる中、大学卒業後45年経ってもスポーツに関して熱が冷める事無く頂点を目指す現役として、指導者としての気力と計画性は全てのアスリートに参考となる事と確信します。

今年、大学卒業後交流45年となります7期生“よんろく会”の一員である事に誇りとなりました。

よんろく会での優勝宣言・その後も…

平成30年に何年かぶりに茨木市で“よんろく会”計画の所、大阪北部地震の影響で茨木市では行えず。

(我々の在学中は茨木市学園町1-1に大学が有り、JR茨木・阪急茨木から多くが大学へ通っており久々にその地で集まりを持つとうという提案が…同時に日時・場所まで決定していました。)

そこで、系列池田市店で開催、楽しく思い出に浸っておりましたが終わりに参加者一人ひとりがスピーチを！

その中で、昨年大阪府でマスターズ優勝をした！の報告を…普通はそこまでか、来年もチャレンジの予定です！の発言で終わるのが常ですが、奥様；同期生で同じ会場に参加されている前で昨年大阪での優勝報告。

来年、令和2年1月（令和元年度）の全日本マスターズ優勝するわ！の発言。

参加者全員が、頑張って！を伝えましたが…毎日、傍らで観察を40年しているアスリート奥さんが…複雑な反応を…。

当日は、47年ほど昔の“思い出話”“定年になった状況での生活”“仲間一人の不慮の事故による旅立ち”や“家族のこと”“近頃の趣味”“現役で活動の楽しみや苦悩”等々話題は尽きず、楽しくまた、自分を戒める1日を有意義に過ごすことが出来ました。

S N S の活用で…

もう一つ、S N S の活用により遠くに離れ個々の生活に戻った後に、意思の疎通が毎日会って居るがごとく頻繁になりました。

誕生日が近づくと…おめでとうコールに各自反応があります。

令和元年8月、櫻井君の誕生日1日前彼はおめでとうコールに“今年もマスターズ選手権頑張って優勝”が有りました。

その日の奥さんからは、“今年の誕生日は皆さんからのメッセージで顔がにやけています”“試合の出場は反対をしていますが聞きません”“試合後1か月は身体がボロボロで使いものになりません”“年寄りの冷や水”との手厳しい反応と“お付き合いいただきありがとうございます👏”の優しい反応が有りました。

第一声を発した後、学校勤務・レスリング指導・孫のプール送り迎え等多忙な中・大体大合宿も行いながら日本一に向けて準備を行ったと想像ができます。

優勝報告とよんろく会の反応

よんろく会の中から頑張って日本一を！と煽っていましたが“頑張って優勝出来たらいいなあ”の反応から…その頃の大雨や雷雨等頻繁に起こり、令和2年の全国的な災害の予兆のような現象が頻発で忘れた頃です。

令和2年になり1月末、全日本マスターズ優勝がありました。

1月19日の結果が、みんなに届いたのが1月25日でよんろく会員誕生日コールに重なり一人の誕生日が何処かに消え去りました。

優勝おめでとう👏・有言実行素晴らしい！・ストイックな生活やったんやろう!?!・100点満点！と称賛。誕生日当人も誇りだよーと称賛。

そんな交流の中から、仲間のいるよろこびや、仲間を自慢する楽しみや、負けない気持ちが持てる幸せが私達には感じられています。

今回、投稿の理由として、思い描いた計画を実行、そして予定の全国優勝を成し遂げる強い心を持つ勇氣。

何より、本人の決心・意思表示・自己練習・大阪府予選（優勝）・全日本66才以上62kg級出場（優勝）の結果を有言実行で獲得！それを応援する仲間がいる事、特に大変な家族の支えを伝える事が目的でした。

よんろく会活動から

最近の子どもを含めた多くの人々に、仲間との時間の共有が欠けているのではと痛烈に感じます。

こんな幸せを分かち合える仲間を作る場所が、小学校～高等学校・大学・各年代でのクラブ活動には、仲間と苦しくても頑張る！場所・雰囲気が存在していました。

子どもを含め、人間の可能性は無限大と考えており、学校・地域の活動で協力・共同の心を育めないかと考えさせられます。

そんな時が再び来ることを心から祈り、機会有るごとに発信したく思います。

令和2年夏 “よんろく会”

よんろく会の紹介

昭和46年大阪体育大学入学者の会



平成30年8月、久々の集まりでした。
昭和46年大阪体育大学入学者の会として、卒業を機会に不定期ではありますが、旧交を温める会として発足しました。

会員は、大学1回～4回生の間交流が深かった者12名で出発。

以降に2名が参加し、14名で大阪・兵庫を中心に不定期でまた、集合可能な者が集まりを持ったり情報を交換したり…

昭和46年入学と学園生活を共にしたグループというだけで、なんとなく45年間継続しています。
強制的な決まりはなく、第1回よんろく会終了から次回幹事を指名し幹事の思うまま次々に“会”を計画していく気ままな集まりです。

しかしながら、大阪・兵庫・滋賀・島根・大分と西日本中心に会員が存在しており、会の終わりに次回幹事の選出をしますが、定年までは公私立教員・スポーツクラブ指導・自営業と仕事内容が異なり予定の調整が困難な時期が長く続きました。

定年の年齢になり、仕事は継続していますが、都合が付き易くなりました、一つの大事件が交流を一段と密にしてくれました。

一昨年島根県の1名が不慮の事故で他界、対処への連携がスムーズに取れ、6名が告別式に参列。
現在も一体感を持って活動を継続しており、一昨年の開催の折SNS交換で日常の情報交換が親密になり災害時の安否確認や誕生日おめでとう！コール等も頻繁になり、学生時代の交流に近い感覚です。（実際には対面しないのですが…）

ただ何となく！的表現となりましたが、会活動に*きっかけ部…活動発案者*もりあげ部…煽り隊*実務部…実施の内容等連絡*参加部…計画に参加等々を全員が役割を共有し活動に参加。

平成15年には、『第1回 7期生全員が集る会』を開催いたしました。
その際には昭和48年度学友会役員・よんろく会が中心になり、手作りの同窓会を摂泉会の援助も得て実施！大阪梅田に全国各地から7期生・大学諸先生・摂泉会役員合わせて100名超のメンバーが集まりました。
よんろく会は、岩重・高附・児嶋・小山・近田・櫻井次郎・佐野・中川・安富・小橋・櫻井阿津子・坂東・屋良のメンバー13名で活動中です。

『第2回7期生全員が集る会』計画中

コロナ終息のあと、70才を迎える前に『第2回7期生全員が集る会』の開催を計画しています。
現在“よんろく会”より、摂泉会理事澤野潔君・四国代議員池田敏雄君両名にご協力をお願いしています。

7期生の皆さん！！近隣の同期生とコンタクトを取って、いざという時の備えをお願いします。
摂泉会には協力をお願いし、HPに掲載頂く予定です。（コロナ終息後、実現に向け活動を開始します。）
☆よんろく会所属の児嶋・近田2名は、KGCスポーツグループにて活動！前回同様活動拠点とします。

“7期生全員が集る会”事務局を開設します。

KGC体操クラブ 666-0116 川西市水明台4-4-5

☎090-3704-9654（児嶋）

☎090-3613-2073（近田）

Eメール kgc@cameo.plala.or.jp

*連絡は、2名の携帯
または、Eメールにて
*Eメールは、発信者
明記をお願いします。

※以上でよんろく会通信を終了します。 コロナに負けず、元気に進んで行きましょう！

